

# いらしやいませ通信

## 阪神淡路大震災から23年たちました。



日本列島でくらす以上、地震をさけて通ることはできないことは、阪神淡路以降の大きな地震を見て明らかです。

今から千年位前に書かれた古文記にも、地震についての記述があり、先人から学ぶ大切さを改めて実感することができました。

### みなさんのご家庭では、安全確認の約束を決めていますか。

今は、携帯電話やスマホがあるので、日頃の持ち合わせも詳細を決めずにいることが多くなりました。

ただ、家がかくすれて、火災が起きたりするような状況では、手元に携帯電話やスマホが有るとは限りません。ですから、いざという時のために

阪神淡路大震災は午前五時四十六分に起きた。その為に被害も多かったです。

どこに集まる等の決め事を確認することが大切です。

子どもが学校で、保護者が仕事中に地震はおさるかもしれません。そのさうな時のために、

例えば、地震で家がこわれ、火災が発生したら...

一、自分の命を守るために、×ディアドーム・三枚野公園に避難する。(津波の場合は高所に)

二、×ディアドームに行けない場合は、三都小学校等の避難場所に行ける。(近いう場所)

三、安全が確認されるまで、動さず待たず、避難所まで待つ

等々、大切なことは、家族で確認をすることです。その為に布巾が用意されている防災マップ等を参考にされて下さい。

あまり過敏になるのもいけません。備えをすることは、大事ではないでしょうか。

## 学校でも避難訓練を行いました。

学校の校舎は、新しい耐震標準で工事が入っているのに、校舎がくずれようなどとは、ないようになっています。

しかし、次の様な状況は想定されます。

○電灯などが落下する。

○ガラスが割れる。

○戸が開かない。

○飛び窓下が使えない。

○電気、電話、PCが使えない。

○水が出ない。ガスが使えない。

夜内放送が使えず、指示が出せないことや、職員室がつぶれてしまつと、連絡先も分からなくなります。

正しい情報を得るには、どうすればいいか等、次々に対応策を考えねばなりません。

とにかく、子どもと先生方の命を守るために、準備を進めています。

学校で、どんなことを学習したかを子どもから聞かれて下さい。

冷静な命。冷静な行動。自分の命。冷静な行動。



## 持久走の試走会でも頑張る姿が沢山見られました。

一月十六日に持久走の試走会も行ないました。

コースの確認と、今の自分の調子も確かめる機会です。

持久走の練習は、今週の月曜日から本格的に始まりました。日頃の運動習慣の差が顕著にあらわれます。

北九州市では、体力向上を目指した取組も大切に行っています。

ただ、日頃から運動している子どもと、そうでない子の差が顕著になっているのも事実です。

私も体を動かさないといけないと思っ、ていても、出来ないと多いのです。持久走大会に向けて、みんなで練習に取り組むことで、お互いにはげまし合って頑張れるのではないのでしょうか。

保護者の方の応援もぜひ目になります。これから二十七日に向けて頑張りますので、日々の応援をお願いします。